

青梅市議会議員

おおせまち 36才 大勢待 としあき



現状の把握と道筋を考える。

青梅市議会議員になり約9か月が過ぎました。

この間の私自身の活動を振り返ると、一年目という
ことで、青梅市が発行している
予算書・決算書、条例や規則、各
課の膨大な資料を細部まで読み込
むことに最も時間を費やしたと思
います。 青梅市の状況を正確に把



【プロフィール】

1975(昭和50)年4月27日生
ねむのき幼稚園
青梅市立若草小学校
青梅市立霞台中学校
都立立川高等学校
青山学院大学経済学部
立教大学院社会学研究科
元IT企業社員
青梅市議会議員(1期目)

握することなしには、将来の策を提案することが
できないからです。今後も保守的な概念に囚われず、青梅市議会で自由
に発言していきます。

原発をやめられる社会へ!!!



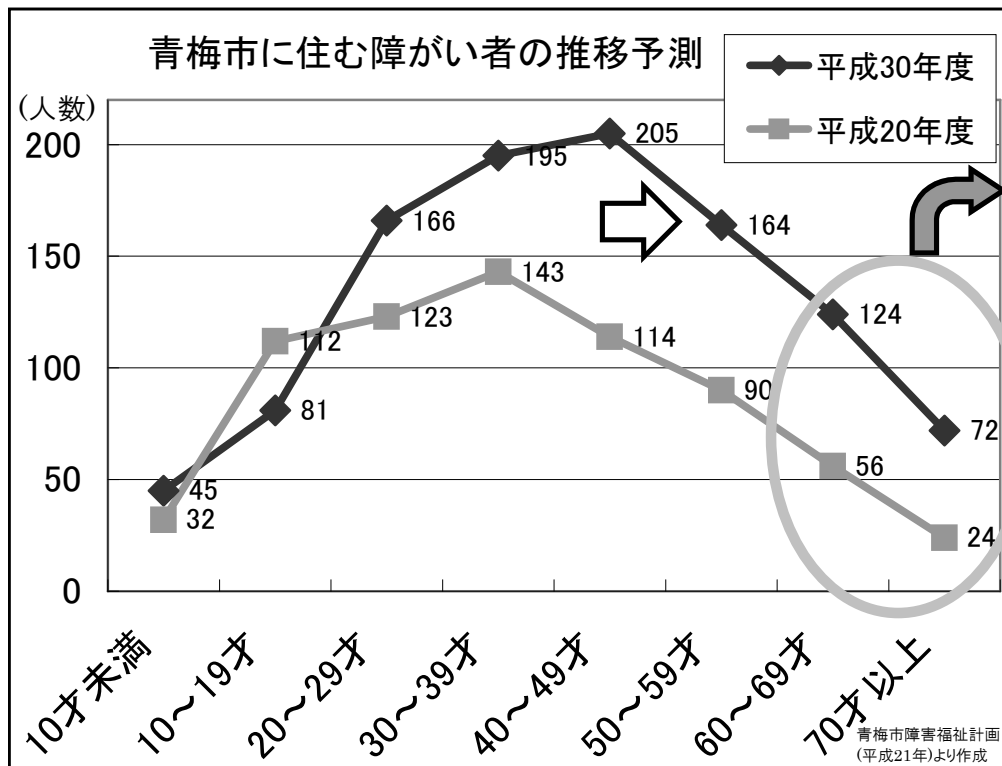
「原発の是非を問う条例」を制定して、都民投票の
実施を都知事に求めることができます。その直接請
求の署名集め人として活動しました。私たち市民が
具体的に行動して政治を動かし「原発をやめること
ができる社会」へ変える時であると思います。

放射能対策は、市民と行政の協働で

現在、青梅市内の放射線量の測定は、行政の方々に
担当していただいています。また市民の間でも独自に
放射線量を計測したり、勉強会を開いている団体があ
ります。行政に任せるだけではなく市民も動き出して
います。青梅市が持つガイガーカウンターの協働利用、放射線に関する
情報の共有などを整備して、市民と行政の協働を実現すべき時です。



一般質問<要点> 単身の障がい者の生活を守るために。



これから、障がい者の方たちも高齢化して、増えていきます。



家族で介護が困難になります。



青梅市で支援体制を整える必要があります。

少子高齢化が進む今日、障がい者の高齢化も進んでいます。青梅市の障がい者の推移予測(上記グラフ)によると、平成30年度には、60才以上の障がい者は、平成20年度の約2.5倍になります。

現在、介護にあたっている方は「親」や「配偶者」がほとんどで、老々介護が問題になっています。それが約10年後になると老々介護のその先、つまり高齢化した単身の障がい者が増えていきます。

今後予想される状況に備えて、障がい者の方たちの生活を守るために、今からケアホーム、グループホームなどの施設の充実に取組んでいく必要があります。

ケアホームの必要性

単身の障がい者を支援していくためには、ケアホームが必要になります。

ケアホームを建てる場合、東京都から2100万円(上限)の補助があり、運転資金の低金利融資や家賃の助成、障がい者手当も支給されます。

しかし前提として、施設を運営する法人が土地を確保していることが条件になるため、なかなか民間の力を使ってケアホームを整備することができません。事業を立ち上げる際に、莫大な資金が必要になるからです。

青梅市には、市有財産の土地を貸し出すなどの支援が求められます。

ケアホームとは…障がい者の方が、地域において自立した日常生活を営むために、食事や入浴等の介護の支援を実施する施設。

【お問合せ】 青梅市河辺町10-1-5-604 または
青梅市新町8-13-20 TEL : 080-6805-9236
FAX : 0428-31-7643 MAIL: t_ohsemachi@ybb.ne.jp
ホームページ : <http://www.ohsemachi.net>